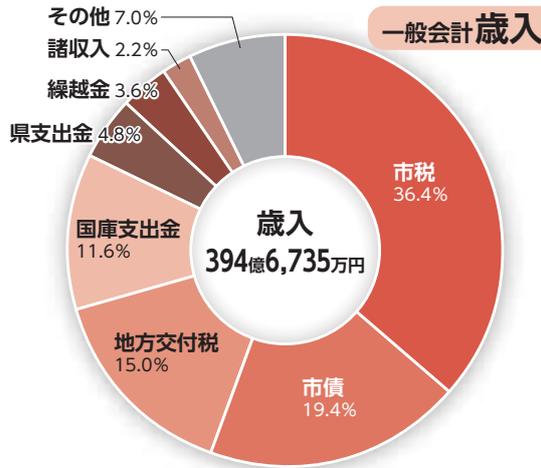
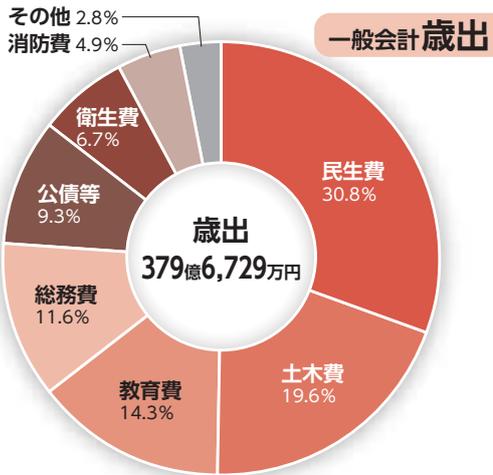


認定

総額 歳入 602億1305万円
歳出 576億6552万円

(国保・介護等特別
会計含む
水道・下水道事業
会計除く)



一般会計目的別歳出内訳

区分	使 用 道	金額 (千円)	総額に対する割合 (%)	前年度比 (%)	住民一人当り額 (円)
議 会 費	議会運営等	307,279	0.8	△ 20.4	2,560
総 務 費	庁舎や職員等の管理費、財政、徴税、選挙等	4,406,502	11.6	△ 12.8	36,710
民 生 費	福祉、高齢者福祉、国民年金、子育て等	11,682,927	30.8	2.7	97,329
衛 生 費	健康増進、ごみ処理、環境衛生等	2,555,829	6.7	△ 3.6	21,292
労 働 費	雇用促進、勤労者支援等	132,919	0.4	4.4	1,107
農林水産業費	農業、土地改良等	314,732	0.8	△ 24.3	2,622
商 工 費	商工業、観光振興等	313,333	0.8	△ 35.4	2,610
土 木 費	道路、公園、区画整理事業等	7,445,889	19.6	54.5	62,030
消 防 費	火災、風水害等	1,852,316	4.9	6.3	15,431
教 育 費	学校教育、社会教育、スポーツ振興等	5,438,830	14.3	27.2	45,310
公 債 費	市債などの返済金	3,516,738	9.3	△ 15.5	29,297
合 計		37,967,294	100.0	6.8	31,630

①各指標について
 ①実質赤字比率 (一般会計等の赤字の大きさ)
 ②連結実質赤字比率 (市全体の赤字の大きさ)
 ③実質公債費比率 (借入金などのその年の返済額の大きさ) ④将来負担比率 (借入金の残高など今後支払わなければならない負債の大きさ) ⑤一般会計等が将来負担すべき公営企業会計、出資法人等を含めた実質的な負債の標準財政規模に対する比率 ※標準財政規模 地方公共団体の標準的な行政活動を行う際に必要となる一般財源の総計

(単位：%)

指標の名称	平成24年度		平成23年度
	早期健全化基準	比率	比率
実質赤字比率	12.25	-	-
連結実質赤字比率	17.25	-	-
実質公債費比率	25.0	4.7	5.7
将来負担比率	350.0	18.8	16.3

財政健全化判断比率
 平成24年度決算に基づく財政健全化判断比率は、早期健全化基準以内であり、財政の適正運営が行われ

9月定例会は、9月3日から9月26日までの24日間の会期で開催されました。今定例会では初日に、市長提出議案として「鴻巣市コウノトリの里づくり基金条例」「平成25年度鴻巣市一般会計補正予算(第3号)」「平成24年度鴻巣市一般会計決算認定について」など28議案が上程され、いずれも原案のとおり同意・可決・認定されました。
 最終日には、議員提出議案として2議案が上程され、1件は可決、1件は否決となりました。なお、今定例会に提出された請願は、不採択となりました。

平成24年度 決算を

一般会計 歳入 394億6735万円
歳出 379億6729万円

平成24年度の主な事業

事業名	金額(千円)	事業名	金額(千円)
①安全・安心でゆったりと暮らせるまちづくり		④利便性が高くうるおいのあるまちづくり	
○消防ポンプ自動車更新事業	62,414	○鴻巣駅東口A地区市街地再開発事業	1,733,442
○こうのとりの里研究事業	4,380	○三谷橋大間線街路事業	744,911
○防災行政無線統合事業	131,722	○市道A-1004号線整備事業	100,294
②すべての人が健やかで思いやりのあるまちづくり		○三谷橋大間線(2期工事)整備事業	178,442
○放課後等デイサービスセンター設置事業	5,015	○生活道路改良事業	331,597
○がん検診事業	58,571	⑤いきいきと個性かがやく活力あるまちづくり	
○こどもの医療費支給事業	360,262	○花と音楽の館かわさと拡張事業	12,398
③心ゆたかできめきのあるまちづくり		○こうのす花まつり開催事業	13,561
○みどりの校庭推進事業	12,785	⑥市民協働のまちづくり	
○吹上複合施設建設事業	322,646	○市民活動センター整備事業	301,333
○川里生涯学習施設建設事業	247,206	⑦スリムで効率的な行政経営によるまちづくり	
○吹上小校舎改築事業	17,000	○本庁舎改修事業	13,258

決算 鴻巣駅東口A地区第一種市街地再開発事業

問 鴻巣駅東口A地区の再開発事業の目的と効果は。

答 鴻巣駅東口A地区第一種市街地再開発事業が平成24年度に終了できました。本地区では、大きく五点を目的として事業が進められました。一点目として、高層の施設建築物

を建てることにより、土地の合理的かつ健全な土地利用を図り、建物の周辺にオープンスペースを確保し、土地利用の細分化を防ぎ、壁面位置の後退を行い、市街地の環境の向上を図りました。二点目として、耐火建築に建替えることから、防災性の向上を図りました。三点目として、駅前広場や駅東通線、駅北通線等の都市基盤の整備や中央図書館、市民活動センター、映画館等の公共公益施設の整備を行いました。四点目として、鴻巣市の玄関口・顔としてふさわしい駅前広場、建築物のデザインや緑化及び電線類の地中化等を行い都市景観の向上、街のイメージアップを図りました。同時に、ユニバーサルデザインによりバリアフリー化の推進を行いました。五点目

として、商業、公共施設、業務、駐車場、都市型住宅等の複合施設の整備により来訪者の増加、雇用の創出等、中心市街地としての活性化を図りました。

以上の五項目を主たる事業目的とし、市民の皆様の活動拠点、交流拠点として一層の賑わいの創出が期待され、本市がさらなる飛躍を遂げるための中心的な役割を果たしていくものと確信しています。

決算 三谷橋大間線街路事業

問 JR高崎線をアンダーパスする三谷橋大間線の雨水対策はどのようか。

答 通常の降雨時には、集水した雨水をポンプ設備等で外部に排出して



鴻巣市内唯一のアンダーパス

おります。しかし、近年増加傾向にある「ゲリラ豪雨」等に見舞われると、周囲から大量の雨水の流入があります。この際には車道部の水位が15cmに達すると路面冠水警報装置が作動し、冠水表示板に「通行止」と表示されます。同時に、自動遮断機が道路を遮断することにより、通行車両の安全を確保しております。

決算
三谷橋大間線(2期)
工事)整備事業

問 三谷橋大間線(2期工事)整備事業の進捗状況は。

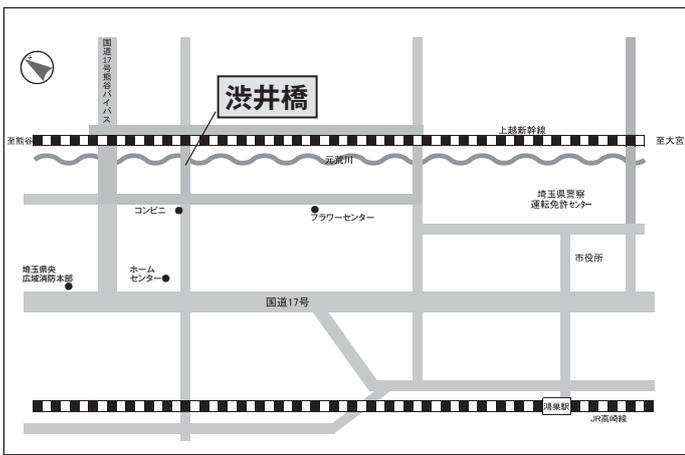
答 本事業は、中山道鴻神社前交差点から国道17号宮地交差点間において、中心市街地における東西幹線道路として整備を実施しております。事業進捗については、現在用地買収を中心に実施しており、平成24年度末時点の用地取得率は約16%となっております。また、平成25年度につきましても引き続き、用地取得を行ってまいります。

決算
市道A-1004号線
整備事業(渋井橋)

問 市道A-1004号線整備事業

の進捗状況は。また、今後の事業の見通しは。

答 本事業は、鴻巣地域と川里地域を結ぶ幹線道路の整備として、渋井橋の架け替え、狹隘区間の解消を目的に実施しております。事業の進捗については、既に用地取得、旧橋解体工事及び干間堀函渠工事が完了し、今後、橋梁下部工工事を濁水期である11月から来年5月にかけて施工します。また、並行して上部工事を行うとともに、その後、橋梁の取り付け道路や橋梁部分の道路整備等を行い、平成27年3月の完成を目指してまいります。



決算
吹上複合施設建設事業

問 平成24年度末の進捗状況は。

答 吹上複合施設建設事業は、新市建設計画に位置づけられた施策別戦略的・重点的プロジェクト事業として、公民館、図書館、及び吹上支所等を併設した複合施設を建設するもので、平成27年夏の完成を予定しています。

平成24年度末の進捗状況ですが、新たな吹上支所が3月25日に開所し、建築工事に係る進捗率は約38%となっております。

本事業は継続事業であり、この7月3日には新たな吹上図書館が開館するなど予定どおり順調に進んでいます。今後は、建築工事の2期工事に着手し、建物については平成26年10月末の完成を目標としています。

決算
川里生涯学習施設
建設事業

問 設計の内容と工事の進捗状況、開設の予定はいつ頃か。

答 川里生涯学習施設内容ですが、公民館、児童センター、及び支所機能を併せ持つ複合施設です。その構

造は鉄筋コンクリート・一部木造の2階建てで、延床面積が2728㎡、そのほか付属施設として倉庫などを整備するものです。

工事の進捗状況ですが、8月末現在の建築工事では内装工事を実施中で、その進捗率は、約78%となっております。また、川里支所棟の解体工事については、本体・躯体の解体工事が終了し、現在は、基礎部分の解体工事を実施中であります。

開設予定ですが、1日でも早く地域の皆さんにご利用いただきたいの考えから、駐車場等は完成していない状況下となりますが、建物が完成した後の来年1月に開所、開館を予定しているところです。



完成が待たれる川里生涯学習施設

決算 みどりの校庭推進事業

問 事業内容と子どもたちの様子はどうか。

答 校庭を芝生化し、子どもたちが芝生の上で過ごすことで、遊んだり駆け回ったり本来の活発さを取り戻すとともに、緑化推進・温暖化対策等、良好な教育環境整備を図ることを目的に、笠原小学校と下忍小学校の校庭をモデル事業として実施しました。補助率2分の1の埼玉県みどりの園庭・校庭促進事業補助金を活用し、笠原小学校は、トラックの内側の約860㎡、下忍小学校はトラックの外側の約1600㎡を整備しました。

子どもたちからは、「裸足で走れて、気持ちいい」「寝ころぶと、空がいっぱい広がる」「転んでも痛くない」「ズボンやスカートが汚れない」等の感想があり、非常に喜んでいるとのこと。

決算 石綿セメント管の布設替え

問 水道事業における石綿セメント管の残延長距離と布設替え終了年度は。

答 合併した平成17年度末現在、台

帳上6万2304mあったものが、平成24年度末現在では1万2617mとなつています。耐震性の観点から早期の対応が求められている石綿セメント管の布設替えについては、安全で安定した水の供給を行うため、平成27年度を布設替えの完了年度の目途として、順次最新の耐震管に布設替えを実施しています。

決算 国民健康保険維持のための公費負担

問 加入者は、全世帯の4割弱であるが、一般会計からの繰り入れはどのうなつているか。

答 必要な医療費の2分の1は、保険料で賄う必要がありますが、低所得者が多い状況の中、それだけでは足りませんので、法定外の公費の投入もやむを得ない状況です。高齢化や医療技術の高度化、医療費の2割が調剤費、受診件数の7%から8%が重複頻回の可能性もあり、さらなる医療費適正化対策が必要です。

決算 武蔵水路改築工事関連整備事業について

問 武蔵水路に架かる満願寺橋の架

け替え工事に対する工事関連負担金の算定方法は。

答 武蔵水路改築工事に伴い、市内では21橋の架け替えを予定しています。満願寺橋については既に架け替えが終了し、地域の幹線道路ということから、幅員についても拡幅を行っています。

負担金は、1mを超える橋梁の拡幅になりますと、1mを超える分の工費を道路管理者の市が負担します。満願寺橋は、5mから8mに拡幅したので、1mを超えた2m分の工費約200万円が負担金となっています。



拡幅され利用しやすくなった満願寺橋

決算 防災行政無線の統合事業

問 統合による効果と問題点は。

答 本市の防災行政無線は、合併前の1市2町が運用していました装置の統合とアナログからデジタル方式への更新工事を、平成20年度から5年間の工期で行いました。

この統合工事により、市役所本庁舎から一括して、市内全域に災害情報の発信や日常では、1日3回の定時放送、鴻巣警察署の依頼に基づく振り込め詐欺の発生や迷い人の放送、交通安全の啓発放送、熱中症の注意喚起など、市民の生命・身体、財産を守るための情報や生活に必要な情報等を発信できるようになりました。

今後においては「放送が聞き取りにくい」「放送がうるさい」等の意見や要望がございますので、できる限り対応していきたいと考えています。

決算 花関係の写真資料の電子データ化

問 内容と活用方法は。

答 花かおりPR推進事業の一環と

して、花関係写真資料電子データ化委託料として、約500万円をかけた、全部で2万3000枚の写真データを収集しデータ化しました。

今後は、歴史順、花の種類別に整理し、各学校等にDVDに加工するなどして活用を考えています。

本市が「花のまち 二つこのす」であることを、各方面に知っていただくための事業です。

決算 介護認定の審査

問 介護認定の審査はどのように実施しているのか。

答 8人の委員で構成されたグループが4グループあり、8人の中で5人が参加する認定審査会を毎週火曜日・木曜日に開催し144回、3566件実施しました。調査員が行った全国統一の調査票での一次判定結果と主治医の意見書等を事前に委員に配布し、合議の審査により二次判定を行っています。

決算 消防団員の出勤状況とポンプ自動車の更新

問 出動件数の実績とポンプ自動車の更新状況について。

答 平成24年度の消防団運営事業における消防団員の出勤件数は、建物火災が21件発生し全てに出動し、堤外等のその他火災においては27件発生し、そのうち14件の出動でした。次に消防ポンプ自動車の更新については、約6240万円の決算額で、4台更新しました。



市民の生命と財産を守るポンプ自動車

補正・条例等の審議

補正予算
エルミニアのすアネックスビル
漏水被害修繕料
(5697万円)

問 どのような修繕をしたのか。

答 シネマ部分は、天井・床・壁等の修繕、照明器具や放送設備等の点検・修理、スクリーンの張り替え等です。

また、市民活動センター及び中央図書館は、天井と照明器具等の点検修理です。

問 エルミニアのすアネックスビルは、保険加入しているとは思いますが、修繕費用は賄えるのか。

答 2つの保険に加入しており、漏水によって修繕した費用として、企業総合保険から5290万2904円、2階にあるスポーツジムの床マットや天井等が破損した損害保険ということと14万4900円が、保険会社から提示されていますので、今後請求の手続きをしていきます。

補正予算
コミュニティバス運営・
購入事業(3931万円)

問 購入台数とバス停を作るとのことだが、何基作るのか。

答 川里地域の広田コースと共和コースを循環型にすること、吹上地域の循環コースを北と南の2コースに分けるといふことで、運行時間・運行距離が大幅に増えることから、新たに2台バスを購入し、合計11台

で運行します。

バス停は、全部で20基作る予定ですが、新たに川里コースで屈巢地域と柿の木地域まで延伸することから、屈巢地域で8基、柿の木地域で2基の合計10基を作る予定です。残りの10基については、既存のバス停で傷んでいるものを交換する予定です。

補正予算
EV充電器の設置
(744万円)

問 設置場所等について。

答 鴻巣駅東口第1駐車場4階に、電気自動車用急速充電器(EV充電器)を設置して、充電インフラの整備を行い、低炭素社会の実現を目指して、電気自動車等の普及促進を図ります。

なお、使用料は、当座の間は無料ですが、他市の動向も調査して、課金制度の導入を検討します。



平成26年3月ごろ設置予定のEV充電器

条例の制定

鴻巣市コウノトリの 里づくり基金条例

問 コウノトリと共生する地域づくりに向け、平成23年度は自然環境の基礎調査を行い、平成24年度は基本構想を策定したとのことだが、平成25年度以降の計画は。

答 市民の声を伺いながら、来年度、飼育基本計画の策定を予定しています。審議会で飼育の方向の答申をいただければ平成27年度に専門部会において飼育実施計画を作成し、

その後、環境省・文化庁の飼育許可をいただくことから、実際の飼育までには4、5年かかる予定です。

問 基金の積立金として4500万円計上することだが、コウノトリの飼育にあたり、他市の実績から、どの程度の規模でどの程度の予算が必要と考えるか。

答 野田市は2羽飼育、建設費については管理棟、公開する場所等すべてで約1億4200万円程度であり、福井県では数千万円程度でした。本市では国の補助金等を活用し、規模についても過剰な建設投資にならないように、また特定財源を確保しながら建設まで進めていきたいと考えています。

条例の改正

川里児童センター 平成26年1月オープン

問 対象年齢と施設や遊具は。
答 18歳までの全ての児童が対象となりますが、主に3歳以上の幼児、小学校1年生から3年生の児童を想定しています。

園庭145㎡にゴムチップを敷きます。ロッククライミング、六角形のジャンブルジム、竹馬、一輪車とその手すりを設置します。

補正予算

保育士等処遇改善 (1587万円)

問 民間保育園7カ所にどのように交付されるのか。

答 民間保育園7カ所分の職員の処遇を改善するための補助事業です。補助金額については、基準額にそれぞれ入所児童数等乗じて算定されます。保育園の規模により違いがありますが、1つの保育園で約200万円前後になると思います。これを正規の保育士、臨時の保育士、事務員、用務員等に配分します。

補正予算

防犯カメラの設置 (136万円)

問 地域防犯体制支援としての対策と設置場所は。

答 鴻巣駅東口のエルミパークと鴻巣中央図書館との市道交差点に、防犯カメラを2基設置します。この機器は、いたずら防止やプライバシー保護等のセキュリティ対策を備え24時間稼働することで、駅周辺の安心安全な環境の整備に努めるものです。

条例の一部改正

鴻巣市税条例の一部 を改正する条例

問 個人市民税の公的年金からの特別徴収制度を見直し、年金受給者の納税便宜や徴収事務の効率化を図ることだが、平成25年度の状況を問う。

答 本市において公的年金等を受給している方は約2万人いますが、このうち公的年金から税額を特別徴収している方は約8400人です。残りの約1万1600人の方は年金受給額が規定に満たない方、または、申告等がされましたが非課税になった方です。

問 仮徴収額と本徴収税額の平準化を図るとは年額が変わるからか。

答 前年度の本徴収税額と同額にする仮徴収算定方式による現行の仕組みでは、一度仮徴収と本徴収の税額に差が生じると、その差が解消されないことから、納税者の方からも平準化を図る対策はないのかとの要望もいただいていたいました。この改正で、年税額の2分の1を仮徴収税額にすることで、年間の徴収税額の平準化を図ることができるようになります。



野田市で飼育されているコウノトリ